# 広報 いまがわ

まずゆとり、車間距離にもこころにも　（55年交通安全年間スローガンより）

昭和55年 6月号 No.261

## 緑を育て、自然をたいせつに

■ 5月27日今金営林署の植樹祭が美利河自然休養林で行われました。

# ことしの国、道直轄事業

## 河川や農業基盤の整備に四十五億円を投入

道路、河川や農業基盤の整備に―と本町熊案の国・道費による直轄事業。本年度も四十五億円余の投入が決まり、すでに各地で工事が始まっています。

そのおもな事業は次のとおりです。

完成が待たれていた道道旭台～今金線（専教寺前）秋に通行可能

本年も昨年に引続き利別川の改修工事が実施されます（鈴金地区）

### 道路

国道二七七号線は、ことしも交通安全を重点に住吉地区の舗装改良一千四百㍍、今金地区国保町―狩丘間一千三百㍍、住吉橋の歩道新設、中里地区の法面改修九十五㍍、今金―種川間二千五百㍍の一部線形改良の用地買収費など一億八千七百万円で整備が進められます。

開発道道八雲～今金線は道道南岸線から八束側二百四十㍍の舗装改良、馬場川地区二千六百㍍の用地買収、用地補償が行われます。

また、長年計画の鳥牧―美利河横断道路は、事業費一億一千五百万円で二百五㍍が実施されます。

一般道では、旭台―今金線の専教寺地区二百五十二㍍の改良、光台―種川線の舗装一千四百十㍍、丹羽―今金線の神丘地区七百㍍、交通安全の歩道は鈴金、稲穂地区実施の予定など、総額二億二千万で行われます。

### 河川

一級河川後志利別川の改修事業は総事業費八億一千三百万円で今金橋上流の護岸二百四十㍍、鈴金地区の築堤延長八百㍍、護岸三百㍍、メップ川鉄道橋下流床止工（本年完成）のほかオチヤラッペ川の築堤（継続）三百七十八㍍、中里地区（七号橋下流）の河道堀削などが実施されます。

直轄事業の美利河ダムは工事用道路五百五十㍍、測量調査（原石山工事用道路、地質調査（ボーリング八百九十㍍、透水試験四百㍍、試掘四十㍍）、補償道路の新設、調査宣伝関係では、事務所、宿舎の増築と美利河にえん堤事務所が新設され総事業費六億三千万円で本格的な事業が進められます。

中小河川では昨年に引続きオチヤラッペ川の改修工事を主体にチブタウシナイ川（補償・用買、築堤工（試験盛土三百六十㍍）など総事業費四億五千万円で整備が進められます。

### 農業

農業基盤の確立に主導的役割を果す北檜山国営かんばい事業は、ことしも左岸六億四千八百万円、右岸八億七千万円の大型予算が計上され、左岸では第二幹線用水路二条（管水路、安全施設）排水路一条、兜野排水機場の上屋及び据付の建設。右岸では真駒内ダムの堤体及び取水施設など、ほかに用水路二条、排水路一条の整備が進められます。

四年次目の国営今金東部地区農地開発事業は、昨年で基本調査が終了しましたので、本年は二千万円の事業費で全体実施設計調査が行われます。さらに直轄かん排利別川は三千五百万円の事業費で総合計画の策定が進められます。

道営田代地区農地開発事業は、本年予算一億円で造成面積十三・八㌶、さらに道営金原地区農地開発事業は五十六年度着工を目標に設計調査が七百万円で行われます。

実施三年目の道営八束地区圃場整備事業は四億円で整地工六十二・五㌶など、道営八束地区かんがい排水事業は一千百十九㍍の用水路付設など一億四百万円で本年度完成します。

一方昨年から実施された道営鈴金地区排水対策特別事業は、一億四千万円で排水路装工一千八百㍍が行われ、新規で種川地区が九千万円で五百㍍実施されます。

また、継続事業の道営伯石第二地区農免道路は舗装で二百㍍、有木地区山村基幹農道は路盤改良三百八十㍍、日進地区農免農道は路盤改良一千六百㍍、日進地区開拓道路は路盤改良六百六十㍍がそれぞれ実施され、本年新規事業で花石地区開拓地整備道路が認められ測量試験が一千万円で推進されます。



## 国民年金の保険料を納められない方は 免除の手続を

国民年金制度には「保険料免除」という制度があるのをご存知ですか。

国民年金の加入者は、必ず保険料を納めなければなりませんが、家計が苦しかったり、失業や災害に遭ったために納められない人もいます。このような事情の場合、保険料を納めずにそのままにしておきますと、滞納となり、将来、年金が受けられなくなりますので申請手続きに基づきその期間の保険料の納付を免除し、年金支給の資格期間とするのが免除制度です。

免除を受けられるのは、次のような人です。

(一) 国民年金の障害年金、障害福祉年金や母子福祉年金などを受けている人、または生活保護法の生活扶助を受けている人。

(二) 収入が少ないなどで、保険料を納めることが困難な人。

このような人は、年金の権利を確保するために、滞納のまま放置しないで、忘れずに免除の手続きをしてください。

免除を受けた期間は、老齢年金の資格期間計算のとき、保険料を納めた期間と同様に計算されますが、年金額の計算のときは、保険料を納めた場合の三分の一の額となります。

なお、免除を受けた期間については、その後、生活に余裕ができたときに、十年前までさかのぼって免除を受けたときの保険料額で納めることができる「追納制度」があります。追納した期間は、年金額の計算のときに、保険料を納めた場合と同じに計算されます。

保険料の手続きなど、くわしいことは福祉課年金係でおたずねください。

## 北海道老人居室整備 資金のご利用を

お年寄りと同居するための増築、又はお年寄りの離家を住みよいよう改造したいが手持資金が不足だという方に、資金面でお手伝いしようと、道は昭和四十九年度から実施している老人居室整備資金の貸付を、本年度も次の要領で実施します。

貸付資金わく　一億円
貸付限度額　百万円以内
貸付利率　年六・五〇四%
償還期間　十二年（二年間元金据置）
償還方法　元利均等毎月払
取扱銀行　北海道拓殖銀行　北海道銀行

貸付の対象となる方は次にあげる条件をすべて満たしている場合です。

一、六十歳以上のお年寄りと同居しているか又は同居しようとする場合

二、道内に一年以上居住し、昭和五十四年中の総収入が、四百五十万円以内（扶養家族が四人を超える場合は、その超える一人につき四十万円を加算します）であること。

三、増・改築する家屋の所有者が、申請者本人（配偶者）又は父母・子などであること。

その他

一、連帯保証人を一名以上必要とします。

二、担保を要しません。

三、金融情勢によって貸付利率が変ることもあります。

借入申請書の受付　五月一日から十一月三十日まで、役場で申込みを受付けします。

## 農地造成の早期完成に向けて 東部開発期成会発足！

利別川に沿い、美利河から金原日進に至る未開地を、畑中心の農地に変えようという国営今金東部地域農地開発事業は三カ年にわたる調査を完了し五十五年度から全体実施設計に入りますが、本事業に関係する受益者は六月三日町民センターで国営今金東部地域農地開発事業促進期成会設立総会を開催し、事業の早期完成へ向けての準備固めをしました。

国の大規模農用地開発事業として実施されます、今金東部開発は経営規模が狭少なため不安定で、美利河、花石、中里、住吉、種川、田代、金原、日進の八地区、畑作、酪農家の営農面積拡大を目標としております。

昭和五十二年から五十四年度の三カ年に約六千五百万円をかけて実施した調査の結果、五百二十二㌶の農地造成をはじめ、幹線、支線道路の新設、飲雑用水道の敷設農業用各種施設の建設などもあわせ、約三十九億円で実施可能なことが判明され、この事業に賛同する農家九十一戸が受益者として参画することになりました。

事業資金計画は、国が八〇%、道一〇%、受益農家一〇%です。

期成会の設立総会には函館開発建設部の農業開発課長、町、町議会、農委、農協等の代表者が出席し、期成会の発足にあたって祝辞を述べられました。

総会の決議内容は、本年度約二千万円をかけて全体実施設計の完了後、五十六年度から本格的な造成事業が着工されるよう要望して行く方針を確認し、今後の事業計画などを決めました。

期成会の役員は次の通りです。

▽会長　日下昭一郎（花石）▽副会長　植村幸太郎（田代）諸戸忠義（金原）▽理事　佐藤誠太郎（美利河）大平悦郎（花石）鈴木一夫（花石）岡本勇吉（中里）伊藤五一（同）島春雄（同）伊藤五四郎（住吉）向井徳雄（同）千葉務（種川）両端家重（八束）飼取勇（金原）伊藤金蔵（同）佐々木保（同）木俣忠（日進）長谷川敬一（同）▽会計　丸山良裕（美利河）坂本久光（金原）▽書記　阪井清隆（種川）▽監事　石沢隆一（花石）小池重徳（日進）

### 納期内に納めよう

固定資産税《二期》
国民健康保険税《一期》
七月三十一日まで

# 今金町社会福祉協議会

## 昭和54年度評議員の決議報告

**みなさまのあたたかいご支援に感謝します**

今金町社会福祉協議会では会員みなさま方の代表であります評議員会を六月七日町民センターで開き、昭和五十四年度の事業報告、決算の承認について議決を得ましたので、その概要を報告します。

### 昭和５４年度歳入歳出決算書

〈歳　入〉

（単位・円）

| 項　目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 |
|---|---|---|---|
| ① 会　費 | 480,000 | 320,500 | △ 159,500 |
| ② 補助金 | 1,543,000 | 1,554,141 | 11,141 |
| ③ 配分金 | 530,000 | 567,835 | 37,835 |
| ④ 寄附金 | 500,000 | 174,000 | △ 326,000 |
| ⑤ 委託金 | 4,464,000 | 4,464,237 | 237 |
| ⑥ 雑収入 | 93,000 | 54,184 | △ 34,816 |
| ⑦ 繰越金 | 163,000 | 22,698 | △ 140,302 |
| 合　計 | 7,693,000 | 7,167,595 | △ 525,405 |

〈歳　出〉

| 項　目 | 予算額 | 決算額 | 増△減 |
|---|---|---|---|
| ① 事務費 | 2,158,000 | 2,120,477 | △ 37,523 |
| 1. 人件費 | 1,652,000 | 1,650,577 | △ 1,423 |
| 2. 旅費 | 100,000 | 83,240 | △ 16,760 |
| 3. 需用費 | 60,000 | 38,060 | △ 21,940 |
| 4. 負担金 | 346,000 | 348,600 | 2,600 |
| ② 事業費 | 878,000 | 490,335 | △ 387,665 |
| 1. 広報啓発費 | 189,000 | 159,450 | △ 29,550 |
| 2. 組織活動費 | 180,000 | 109,065 | △ 70,935 |
| 3. 会議費 | 35,000 | 30,000 | △ 5,000 |
| 4. 研究会費 | 100,000 | 41,580 | △ 58,420 |
| 5. 法外援護費 | 200,000 | 63,580 | △ 136,420 |
| 6. 愛の訪問費 | 60,000 | 5,560 | △ 54,440 |
| 7. 事業振興費 | 50,000 | 30,500 | △ 19,500 |
| 8. 歳末資金活動費 | 64,000 | 50,900 | △ 13,100 |
| ③ 繰出金 | 4,465,000 | 4,464,237 | △ 763 |
| ④ 予備費 | 192,000 | 51,698 | △ 140,302 |
| 合　計 | 7,693,000 | 7,126,747 | △ 566,253 |

歳入 7,167,595円、歳出 7,126,747円

次年度繰越金　40,848円

### 昭和５４年度事業報告書

| 月日 | 実施した事業名 | 摘要 |
|---|---|---|
| 54年中 | 愛情銀行預託の推進 | 金銭98件 2,774,771円<br>物件32件、労力6件 |
| 〃 | 世帯更生資金の貸付借受 | 貸付件数8件3,421,000円<br>償還金　870,012円 |
| 〃 | 心配ごと相談所の相談実施 | 民生委員22名　375件 |
| 〃 | 生活応急資金貸付 | 貸付件数15件<br>貸付金　750,000円 |
| 〃 | ボランティア活動の促進 | 日赤、今金奉仕団47名<br>他の団体 |
| 〃 | 社協会員の入会促進 | 現在 661名(旧613) |
| 4. 10/11 | 法人化申請書提出 | 札幌市、道庁へ1名 |
| 5. 9/10 | 檜山地区町村社協会議 | 大成町、会長外1名 |
| 5. 17/18 | 全道市町村社協会議 | 札幌市　2名 |
| 5. 24/25 | 共同募金全後志、檜山管内研修会 | 熊石町　2名 |
| 6. 19 | 道日赤支部、避難訓練講習 | 消防庁舎<br>日赤奉仕団、婦人会53名 |
| 6. 26 | 社協総会 | 町民センター　41名 |
| 7. 3/4 | 檜山管内身障者スポーツ大会参加 | 社協理事　10名 |
| 7. 8 | 檜山管内社会福祉大会へ参加 | 40名参加 |
| 8. 5 | 今金町老人スポーツ大会の開催 | 総合体育館　310名 |
| 8. 25 | 道南地区ボランティアスクールの参加 | 函館市、日赤奉仕団2名 |
| 10. 15 | 厚生省から、社協法人化認可 | |
| 10. 1<br>11. 30 | 共同募金運動の開始 | 戸別募金、法人企業募金 |
| 10. 22 | 社協、法人としての登記完了 | |
| 10. 24 | 北部3町ブロック別福祉こん談会 | 町民センター　62名 |
| 11. 15 | 檜山地区高齢者生活対策こん談会へ参加 | 熊石町　12名 |
| 10. 1<br>11. 30 | 共同募金、街頭募金運動の実施 | 町民センター　18名 |
| 12. 7 | 法人等商店の募金運動の実施 | 市内　10名 |
| 55年<br>1. 7 | 特別生活資金、灯油の貸付 | ・○1世帯貸付 30,000円<br>貸付56件 1,680,900円 |
| 2. 4 | 檜山地区心配ごと研修会へ参加 | 江差町　2名 |
| 54年中 | 町内遺家族への弔慰料 | 79名 |



# 地域住民の助けあい

## あなたも会員になって下さい。

町社会福祉協議会は、町内における社会福祉を目的とする事業の能率的運営と組織的活動を促進するため、会員会費制度を実施して地域住民のあたたかいご理解をいただいています。現在では全町六百六十六人にわたる加入を賜っていることに厚くお礼申し上げます。本年度も、さらに一人でも多くの町民の方々のご賛同を得てご加入くださる会員を近々役員がお願いにまいります。

地域住民のみんなが、健康で明るく、楽しく、日常生活が送れるよう、みなさま方のご理解、ご協力をお願いします。

社協の役員は理事十五人、顧問二人、監事二人、更に各地区に評議員五十三人を加えて社会体制の充実を図っています。

▽会長　高島千三（奥種川）▽副会長　天沼汪（神丘）石井照子（本町）▽理事　阿部久治（花石）伊藤五一（中里）高橋政子（種川）猪股敏二（稲穂）吉田吉郎（八束）荒川一見（金原）中野キヌ子（鈴金）白石光喜（東町）大倉啓太郎（昭和町）伊藤トミノ（南町）荒井正信（南町）松橋泰子（八幡町）。▽監事　津島一良（本町）石井智恵子（大和町）▽顧問　河端豊（八束）友喜幸次郎（種川）

▽会員（55・3・31現在）

〔美利川〕○佐藤蔵太郎、宮越一夫、青山弘、蛭子井真、丸山良治、蛭子井子野、米山健一、松尾フジノ、今野文夫、平山繁雄、黒川大蔵、岡部広、野村勝太郎、宮越健二、伊藤孝久、小野寺伝二、大清水鹿太郎、南部四郎、〔花石〕○日下昭二郎、田中義雄、阿部久治、石山フジエ、○山本政治、高木正行、加藤春吉、島津富美男、門間正夫、伊藤博、鎌田茂、加藤武、加藤みどり〔中里〕○伊藤周佐夫、伊藤五一、佐竹淳一、〔住中〕○遠藤東、中島末弘、伊藤国義、佐々木正春、神野政男、中島正勝、神野竹市、吉田武、〔住吉〕○渡辺猶市〔上種川〕○伊藤辰雄、黒須隆三郎、蛯名弘美、千葉務、斎下勉、千葉誠、木村繁夫、金澤竹次郎、伊藤千代子、広沢ミツエ、広沢次男、伊藤昭一、千葉尚夫、伊藤英雄、伊藤優、山口茂、山口キヌ、村上孝作、菅野仁蔵、荒木勝治、〔宮前〕○六鈴菊太郎、友善幸次郎、中村祐吉、加藤五郎、加藤国恵、加藤俊治、高橋政子、日野トヨミ、○加藤玲子、川村トミ、小野島弘吉、日野八千代、松尾幸重、伊藤武雄、渡部繁、伊藤義一、吉田七右エ門、山口修次、平尾勝子、高岸春雄、高橋保、吉田ハツ、安達みつ、坂本光子、山口栄子、佐藤節子、加藤正治、安達一夫、山田繁夫、田中幹朗、川村広夫、〔駅前〕○井村毅〔中種川〕○八重樫栄三郎、八重樫ユリ子、原口フジ、阪井ミヨ、〔下種川〕○上田茂、千代谷隆、上田良作、原口昌己、原口豊治、内ケ島賢裕、上田イト、長崎光江、渡辺二郎、小岩隆一、〔奥種川、下メップ高台〕○立野又治、高島千三、清水健次、岡野英雄、小岩珪次、本塚栄作、長崎貞、村上正幸、岸善次郎、熊沢進幸、〔上種穂〕○田村友三郎、猪股敏二、千葉喜太郎、佐々木昭、鎌田政蔵、久保田満広、今野秀雄、尾形信一、尾形義晴、柏田義見、鎌田勝男、佐々木威、川平茂、石塚辰次、藤倉泰雄、山中竹一、田村義直、早坂悦次郎、田村俊蔵、〔下稲穂〕小岩朝衛、伊藤勝一、横内浅夫、松尾幸長、斎藤勇、藤倉勝雄、〔金又〕○上村勇男、人見貫、〔田代〕村本勇、佐藤茂、谷崎照雄、須藤政義、〔光台〕○地場信義、今野長治、〔南豊受〕○内ケ島準介、天井通雄、夕下時雄、太田越留吉、植村勉、刈谷昇、芳賀常夫、桜井清一、刈谷実、戸室忠義、中村利治、多田懋、〔豊受〕岸本義仁、山口優、〔南田代〕末藤松雄、西昭二、大松正雄、西幸雄、遠藤豊、〔八束〕○河端義弘、河端昭三、大畑藤夫、中野俊夫○山崎文子、○松永敏雄、大谷徳道、山本鶴雄、尾崎武男、村瀬正信、村瀬千代一、足利義明、中野秀勝、村瀬翠重郎、上村義雄、竹内輝雄、松田数雄、河端吉信、南川薫、河端豊、日置恒雄、足利義夫、吉村重蔵、吉村信一、村瀬鶴吉、松永政美、日置昇、相澤篤、小島安夫、小原正、滝坪義男、土田国三郎、土田勝太郎、森川時晴、山田一夫、山崎正直、和田米雄○阪井ミエ、田畑友明、浜田鶴雄、阪井美男、土橋正雄、吉田優、田畑利夫、久ケ沢幸男、吉田吉郎、〔白石〕○石川正、木島和雄、〔日進〕小池重徳、遠藤長吉、長谷川敬一、村瀬正四、前島祝、谷勝己、加藤要、〔金原〕○荒木一見、永野勲、水上正、笹森專五、本田新清、水野一夫、下田屋訓男、小田島秀雄、本田幸雄、須田市太郎、水野長生、笹森春子、坂本久光、下田屋春子○三上信一、伊藤一治、黒川礼治、諸戸美津男、上野邦治、西雪清美、伊藤誠、服部信次、今野重雄、稲垣辰夫、堀田常信、伊藤金蔵、伊藤光徳、富本吉代、諸戸忠義、犬塚ウメ、本間信昭、伊藤敬一、伊藤広、水野博、大塚富夫、伊藤優、伊藤文一、飯田恵、渡瀬一夫、伊藤義市、飯谷菊一、〔鈴金〕○笹森イツ子、笹森武雄、津村竹松、水上英治、水野きみえ、滝沢六郎、中野キヌ子、岸本輝義、荒川力蔵、北見とみ子、上野雄三、水野栄一、中山源一、林誠次郎、坂口満太郎○白井宜昭、宮崎俊雄、宮崎勝己、青又保久、佐藤弘一、白井重寿、鈴木勇、〔豊田〕○鈴木四郎、鈴木吾良、南川富栄、川上ヨシ、庫元文子、南川豊、庫元勇、川上敏夫、廻口芳雄、庫元成一、広沢功、津留九郎、前田幸吉、佐藤新一、四辻敦子、津田一郎、山田万太郎、南川栄、三津橋和男、和田林三、和田椋一、南川章、笹森芳太郎、笹森留太郎、庫元勲、中山一秋、笹森磨雄、鈴木忠、川上鉄蔵、犬塚一利、伊東辰雄、〔神丘〕○山崎虎喜、平野清雄、西野栄○上村貞夫、河野梅子、吉田誠、河田保夫○町河定男、谷田隆、杉内秀次、天沼汪、川崎義通〔鈴岡〕○油家作太郎、上村信正、石川俊典、仲川幸一、幅口忠男、山本正太郎、山本善作、湯本駒蔵、〔御影〕○高澤伝子〔寒昇〕○宮谷吉治、佐藤幸治、今村浩、細川キリ、吉田鶴若、岡部子

〔来月号につづく〕

# ことしは一八八頭が入牧

放牧地は、いまグリーン一色。新緑の牧場に牛の群れをなす季節を迎えました。

ことしも、農協営日進高原模範牧場で入牧を開始。一八八頭が農家の手を離れて、十月下旬まで育成されます。

今金町は本年度も昨年に引続き優良雌牛十頭を導入し酪農の振興に力を注いでいます。

牧場の入牧は六月二、三日の二日間行われ乳牛一八八頭が放牧地に放されました。

入牧は朝の九時からはじまり、農家からトラックに積まれた牛が次々と運び込まれ、放牧地は半年ぶりに牛が若草をはむ光景が見られました。入牧した牛は、まず番号札がつけられたあと写真を撮り体重を計って、からだ全体に消毒用の薬剤を散布して放牧地に放されました。放牧期間は十月の下旬までですが、一日でおおよそ〇・六〇も体重がふえるとあって、農家の人たちも『秋には見違えるほど太っているのでは!』と期待をこめていました。

放牧のためトラックから降ろされる若牛

# 農業機械化研修生を募集しています

道では、農業機械を安全で効率的に使用する知識と技能を身につけてもらうため、美幌町と清水町の道立農業機械化研修所で別記のとおり研修を実施します。

研修の申し込み先や経費などは次のとおりですが、詳しいことは左記にお問い合わせください。

●研修の申し込み

各研修開始の二週間前までに檜山支庁に申し込んで下さい。

●研修の内容と期間

別表のとおり。

〈別　表〉

| 研修の種類 | 研修の内容 | 研修対象者 | | 研修場所 | 研修時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| トラクター整備 | トラクターの整備方法等に関する専門的な知識及びアーク溶接の技能習得 | 農業者 | | 美幌 | 1/5～1/26、2/5～2/26、3/5～3/26 |
| | | | | 清水 | 1/6～1/26 |
| 溶接性能 | アーク溶接及びガス溶接について、労働安全衛生法に基づく技能習得 | 農業者 | | 美幌 | 2/5～2/26、3/5～3/26、4/5～4/26、5/5～5/26 |
| | | | | 清水 | 2/5～2/26、3/5～3/26、4/5～4/26 |
| 農業機械2級 | トラクター及び基本作業機の構造、取扱、操作等に関する基本的知識及びガス溶接技能習得 | 農業者 農業学園生 | | 美幌 | 2/5～2/26、3/5～3/26、4/5～4/26 |
| | | | | 清水 | 2/5～2/26、2/5～3/26、3/5～3/26、3/5～4/26、4/5～4/26、4/5～5/26、5/5～5/26 |
| コンバイン利用 | 普通型コンバインの取扱い操作整備方法等に関する専門的な知識技能の習得 | 農業者 | | 美幌 | 2/5～2/6 2/7～2/8 |
| 農作業安全研修 | 農作業安全に関する知識技能の習得 | 農業者 | 一般 | 美幌 | 2/5～2/6 |
| | | | | 清水 | 2/5～2/6、2/7～2/8 |
| | | | 婦人 | 美幌 | 2/5～2/6 |
| | | | | 清水 | 2/5～2/6 |
| 現地農業機械研修 | トラクター等農業機械の取扱い整備の基礎習得 | 農業者 | | 美幌 | 2/5、2/6 |
| | | | | 清水 | 2/5、2/6 |
| 農業機械1 | 機械化営農計画の策定利用組織の運営等指導者として必要な知識の習得 | 農業機械2級研修の修了者利用組織の中核的農業者、市町村及び農業団体の職員 | | 美幌 | 2/5～2/6 2/7～2/8 |
| 乾燥設備主任者 | 乾燥設備、その関連設備の構造、取扱知識について、労働安全衛生法に基づく技能習得 | 乾燥設備の従事者 | | 美幌 | 2/5～2/6 2/7～2/8 2/9～2/10 |

二、農薬の調合に当っては

▽ラベルをよく読んで注意事項を守ること。

▽河川、養魚池周辺などの危険な場所での調合は避けること。

三、散布のときは

▽マスク、ゴム手袋などを必らず着用すること。

▽風向に十分注意し、また風の強い日は散布しないこと。

▽日中の気温の高い時は避け、朝夕の涼しい時に散布すること。

▽同じ人が長時間散布しないこと。

▽散布場所等に子供を近づけないこと。

四、散布が終った時は

▽空びん、空袋は定められたとおり安全に処理すること。

▽使用後の器具等はよく水洗いをすること。

▽身体を石ケンで洗い、うがいをして十分休養すること。

▽使用残りの農薬は、カギのかかる場所に保管すること。

なお、不明な点がありましたらお近くの農業改良普及所や保健所におたずねください。

農薬事故に気をつけよう

# 農薬の安全使用を

道は、五月一日から八月三十一日までを病害虫適期防除と農薬危害防止運動期間と定め、農業の安全使用について指導しておりますので皆さんのご協力をお願いします。農薬を使用する際には病害虫の発生状況や雑草の種類等を調査して使用するとともに、つぎの事項を十分守り、農薬による危害の防止に万全を期してください。

一、散布の前には

▽散布機具をよく点検すること

▽健康管理に十分注意し体の具合の悪い人は散布作業に従事しないこと。



7月1日から営業開始

# 最終処分地施設の利用条件が変更

北部檜山衛生センター組合では、最終処分地施設（北檜山町字共和）の完成により『七月一日』から直接ゴミを搬入される場合、次のとおり利用条件が変更になりますからご注意ください。

一、施設利用時間

㈠夏期（四月～九月）午前九時三十分から午後六時まで

㈡冬期（十月～三月）午前九時三十分から午後五時まで

二、施設の休日及びその期間

㈠毎週日曜日

㈡毎年十二月三十一日から翌年一月五日まで

三、施設への受入禁止廃棄物

㈠廃油、廃酸、廃アルカリ及び空容器並びに当該品を含んだ衣類

㈡車輌用タイヤ

㈢動物の死体及び魚貝類

㈣農薬及び空容器等の有害物

四、処現手数料

㈠直接搬入されるゴミにつき、百㌔まで四百円、二十㌔増すごとに八十円加算徴収致します。

㈡現在、ゴミ処理手数料を納付されている店舗、事業所については、利用の際、組合が発行する証明書を提示ください。

提示がない場合は料金を徴収いたしますのでご注意ください。

尚、詳しくは、北部檜山センター組合又は役場福祉課まで問い合わせください。

〈北部檜山衛生センター組合〉

共和地区に完成した最終処分地施設

# 56年3月・新規学校卒業者の職業紹介の取扱い

昭和五十六年三月新規中学校、高等学校卒業者を対象とする求人の受理確認の時期及び学校訪問の取扱い並びに推せん選考の開始時期等については、次のとおり決定されましたので厳守して下さい。

(1)求人の受理・確認の時期

▽中学校

求人受理開始　7月1日以降

求人連絡開始　7月15日以降

▽高等学校

選考日　求人内容等確認のための求人票受付開始7月1日以降

求人受理、返戻連絡開始　7月15日以降

(2)学校訪問時期及び回数

▽中学校

○訪問時期　7月15日（求人受理後）以降9月30日まで

○訪問回数　一求人者一校一回。

（但し、心身に障害を持つなど進路指導上とくに配慮を必要とする中卒者等を対象する求人活動を行う場合であって、当該学校長及び当該学校管轄の安定所長が協議のうえ必要と認めた場合はこの限りでない。）

▽高等学校

○訪問時期　7月15日（求人受理後）以降。（但し、求人者管轄安定所に既に受理、確認のための求人票を提出している求人者が、求人申込み前に求人情報提供の為に学校訪問を行う場合は7月1日以降行っても差し支えない。）

○訪問回数　一求人者一校一回。

（但し、学校長が進路指導上とくに必要と認めた場合はこの限りでない。）

(3)推せん・選考の開始時期

▽中学校　12月1日以降

▽高　校　推せん　9月21日以降

選考　10月1日以降

(4)不公正求人活動に対する措置

求人活動はルールを厳守していただかなければなりませんが、もしもルールに違反する求人活動を行った場合は、紹介等止等の措置がとられます。

なお、詳しいことは函館公共職業安定所北檜山分庁舎へお問い合わせください。（電④572-8）

# 新基本手当日額表

55・4・1適用

雇用保険基本手当日額が4月1日より改正されました。

| 賃金日額 | | | | 基本手当日額 |
|---|---|---|---|---|
| 2,670円以上 | | 2,720円未満 | | 2,140円 |
| 2,720 | 〃 | 2,800 | 〃 | 2,180〃 |
| 2,800 | 〃 | 2,880 | 〃 | 2,220〃 |
| 2,880 | 〃 | 2,970 | 〃 | 2,260〃 |
| 2,970 | 〃 | 3,070 | 〃 | 2,300〃 |
| 3,070 | 〃 | 3,170 | 〃 | 2,340〃 |
| 3,170 | 〃 | 3,280 | 〃 | 2,380〃 |
| 3,280 | 〃 | 3,390 | 〃 | 2,420〃 |
| 3,390 | 〃 | 3,570 | 〃 | 2,470〃 |
| 3,570 | 〃 | 3,770 | 〃 | 2,520〃 |
| 3,770 | 〃 | 3,990 | 〃 | 2,570〃 |
| 3,990 | 〃 | 4,210 | 〃 | 2,620〃 |
| 4,210 | 〃 | 4,444 | 〃 | 2,670〃 |
| 4,443 | 〃 | 4,515 | 〃 | 2,690〃 |
| 4,515 | 〃 | 4,685 | 〃 | 2,760〃 |
| 4,685 | 〃 | 4,890 | 〃 | 2,860〃 |
| 4,895 | 〃 | 5,085 | 〃 | 2,990〃 |
| 5,085 | 〃 | 5,380 | 〃 | 3,140〃 |
| 5,380 | 〃 | 5,620 | 〃 | 3,300〃 |
| 5,620 | 〃 | 5,915 | 〃 | 3,460〃 |
| 5,915 | 〃 | 6,190 | 〃 | 3,630〃 |
| 6,190 | 〃 | 6,480 | 〃 | 3,800〃 |
| 6,480 | 〃 | 6,780 | 〃 | 3,980〃 |
| 6,780 | 〃 | 7,090 | 〃 | 4,160〃 |
| 7,090 | 〃 | 7,400 | 〃 | 4,350〃 |
| 7,400 | 〃 | 7,750 | 〃 | 4,550〃 |
| 7,750 | 〃 | 8,110 | 〃 | 4,760〃 |
| 8,110 | 〃 | 8,490 | 〃 | 4,980〃 |
| 8,490 | 〃 | 8,890 | 〃 | 5,210〃 |
| 8,890 | 〃 | 9,300 | 〃 | 5,460〃 |
| 9,300 | 〃 | 9,700 | 〃 | 5,700〃 |
| 9,700 | 〃 | 10,100 | 〃 | 5,940〃 |
| 10,100 | 〃 | 10,500 | 〃 | 6,180〃 |
| 10,500 | 〃 | 10,900 | 〃 | 6,420〃 |
| 10,900 | 〃 | 11,110 | 〃 | 6,660〃 |
| 11,110 | 〃 | | 〃 | 6,670〃 |

# 梅村松次郎さんに

## 勲七等青色桐葉章

三十四年間にわたり消防団員として町民の生命、財産を守り続けてきた梅村松次郎さん（中里・64歳）に勲七等青色桐葉章が贈られ、五月二十八日道庁内知事から伝達されました。

梅村さんは、昭和十六年七月に利別村警防団に入団以来、火災予防の充実を叫び、春・秋の一般家庭の防火査察に意を注ぎ、予防消防の強化に努力した功績は高く評価されています。

また、責任が強く特に昭和二十三年八月の災害救助で、利別川にかかる珍古辺橋の工事をしていた労務者が濁流にのまれ行方不明、結局、亡くなりましたが、この捜査に当って延々三日間家来を顧みることなく、疲労している団員を激励し合いながら行った指揮統率力は抜群で、消防関係者、地域住民から賞賛されました。

## “わが家のアイドル”

池田光男さんの次女（緑町）
**美希子**ちゃん　1歳6ケ月
ママ怒らないで!!と笑いながら「ミキ、おいしいよ」とホッペをなでながら、新聞でも、スコッテイなど紙なら何んでも食べてしまう“糊白娘”です。

**写真募集中**　3歳までのお子さんの日常のスナップをお寄せください。　―広報係―

# 輪禍防止キャラバン

## 婦人指導員が巡回

事故多発期の交通安全特別運動にちなんだ「交通安全は婦人から」、運動キャラバンが六月二日今金町を訪れ、事故死ゼロを強力に訴えていました。

家庭婦人を中心にした交通安全推進の輪を広げよう―と交通安全婦人指導員道南ブロック連絡協議会が主催し、管内各町が後援しているものです。

一行は町長にメッセージを伝えたあと、交通安全音頭の披露、さらに、婦人団体に交通安全母の会の結成を呼びかけていました。

## 交通指導の功績と優良運転で

### 品川敏郎さんら表彰

多年にわたり地域住民の事故防止と安全思想の普及功績と無事故無違反運転に従事されたことが認められて、次の方々が晴れて会長表彰を受けました。

◆北海道交通安全推進委員会長表彰▼品川敏郎（今金）広沢一二三（今金）上村弘（今金）下川部時雄（今金）

◆今金町交通安全運動推進委員会長（河端豊）・今金町交通安全協会長（松浦武雄）表彰▼三十年＝渡部幸一郎（今金）▼二十年＝諸戸正（今金）上野雄二（金原）▼十五年＝庫元勲（豊田）諸戸美津夫（金原）木南博明（今金）山崎淳平（今金）山崎登一郎（今金）坂本光子（種川）湯元駒蔵（鈴岡）本田惣平（白石）佐藤喜夫（今金）戸室忠義（田代）中島キヨ（住吉）谷勝己（日進）馬場利男（美利河）▼十年＝河田清（神丘）塙田善太（八束）伊藤文夫（中里）中島茂（御影）植村繁（今金）梅村松次郎（住吉）牧田春蔵（今金）南川満一（今金）古山梅子（今金）末藤喜美（田代）佐々木保（今金）岡本勇吉（中里）黒沢カツエ（神丘）中沢明夫（今金）蒲川四郎（今金）村上忠夫（神丘）柳沢毅（種川）関口三郎（種川）

## 町民センター 図書室だより

### ○新刊案内○

〔一般図書〕
▶世界動物文学全集⑱＝スタンレーPヤング他▶天皇の料理番＝杉本久英▶上者の妻＝永井路子▶暮しの中のことわざ＝池田弥三郎▶北海道文学全集⑤＝藤森成吉▶絵のない絵本（全23巻）▶吉川英治郎全集⑱＝吉川英治▶大闇記1・2・3・4＝吉田豊訳▶名将言行録上・中・下＝北小路健訳▶陰徳太平記上・中・下＝松田修訳▶江戸繁昌記上・下＝竹谷長二郎訳▶三河物語上・下＝小林賢章訳▶北越雪譜＝浜森太郎訳▶世界動物文学全集⑲＝藤原英司訳▶歴史への招待7＝藤枝井和夫▶日本の歴史1・2＝直木孝次郎他▶小さないけばな＝動使河原霞

〔児童書〕
▶生きものばんざい（全8巻）＝吉原順平▶あかね創作児童文学＝（全14巻）▶愛の四姉妹＝オルコット▶わたしが子どもだったころ（全8巻）＝日本児童文学者協会▶のらくろ漫画集（全10巻）＝田河水泡▶新演劇作童話（全18巻）＝山中恒▶PTPP創作童話（全24巻）＝久保喬▶小川未明童話全集（全16巻）＝小川未明▶創作理科シリーズ（全12巻）＝舟崎克彦他▶世界メルヘン絵本（全20）＝植田敏郎他▶むかしむかし絵本（全30巻）＝大川悦生他▶世界の創作童話（全14巻）＝マンフレッド・ゼール他▶児童文学創作シリーズ（全38巻）佐藤さとる

## “ある日のあなた”

―写真をさしあげます。

### ■交通事故の相談はご遠慮なく

札幌自動車保険請求相談センターでは次のとおり無料相談を行っておりますので、ご利用してください。

▷相談時間　平日（午前9時半から午後4時半まで
土曜日（正午まで）
▷弁護士相談日　毎週木曜午後1時～4時まで
▷相談会場　札幌市中央区北3条西3丁目1－44富士ビル4F
Tel　011－251－3731
▷相談所名　札幌自動車保険請求相談センター

### ■老人医療受給資格証の更新を

老人医療受給資格証は7月1日から新しくなります。

印かん、健康保険証を持参のうえ、早めに役場福祉係で手続きしてください。

### ■道委節労働者通年雇用相談員のご利用を

函館公供職業安定所では、雇用と生活の安定を図るため、次の方を北海道委節労働者通年雇用相談員に委嘱しておりますので、お気軽にご利用ください。

▷相談員　石井　昭夫
▷勤務先　函館公共職業安定所八雲出張所
（電話01376 －2－2509）

### ■『サマージャンボ宝くじ（予約制）』の発売

7月10日から「サマージャンボ宝くじ」（別称・市町村振興宝くじ）の受付が開始され、単価300円で1等3千万円が100本も当ります。

収益金は、豊かな住みより地域社会づくりに役立てられます。

申し込み方法等、くわしいことは、発売日前日の新聞紙上で発表されます。

### ■税務職員（税務大学校・普通科研修生）の募集

税務職員は、国家公務員採用初級試験の税務職合格者の中から採用されます。受験資格などは次のとおり。

▷受験資格者　昭和35年4月2日から昭和38年4月1日までに生まれた男子。
▷申込受付期間　7月9日(水)から7月18日(金)まで（郵送の場合は、7月18日までの消印のあるものに限る）
▷申込先　人事院北海道事務局
〈札幌市中央区大通西10丁目〉
▷第1次試験　10月5日（日）
▷第2次試験　11月中旬～11月下旬までの1日。
▷最終合格者発表　12月中旬～12月下旬までの間

詳しくは、札幌国税局人事第二課（Tel）011－231－9311内線 224又は税務署総務課へ照会ください

### ■北海道保母試験の案内

道では55年度第2回目の保母試験を9月18日に実施します。受験資格は高等学校を卒業した者（旧制の高等女学校及び旧制中学校を卒業した者を含む。）また、18歳に達した後、児童福祉施設において3年以上児童の保護に従事した者。受験の受付は、7月1日～7月31日まで、申込用紙と詳細は役場福祉課へお問い合せください。

### ■7月の休日当番医

| | | |
|---|---|---|
| 6日 | 今金町岩間医院 | ☎②0057 |
| 13日 | 今金町富田医院 | ☎②0324 |
| 20日 | 今金町国保病院 | ☎②0221 |
| 27日 | 北檜山町国保病院 | ☎④5011 |

## 管内軟式テニス大会が今金町で開催

檜山管内体育協会連絡協議会主催の第一回檜山管内軟式テニス大会は、六月一日総合体育館で行われ、管内六町から九十八人の選手が参加しました。

団体戦では一般男子の部で奥尻町が、一般女子と主婦の部では北檜山町が、また、成・壮年の部では今金町がそれぞれ優勝しました。

団体戦二位以下と個人戦の成績は次のとおりです。

◇団体　▽一般男子　❷今金　❸江差▽一般女子　❷今金　❸江差▽成・壮年　❷北檜山▽主婦　❷今金

◇個人　▽一般男子　❶吉田憲司・吉川正春（江差）❷小池利雄・井手幹雄（今金）❸安西芳勝・水本俊光（同）▽一般女子　❶鈴木綾子・大塚貞規子❷笠原昭子・今春代（瀬棚）❸吉田寛子・上濱節子（今金）▽成・壮年　❶川島紀邦・川島亜夫（今金）❷上野喜三郎・田中啓雄（奥尻）❸奥田聡・久保田正義（北檜山町）▽主婦　❶鈴木勢津子・阪井敏子（今金）❷遠藤敏子・小林絹子❸伊岡弘子・塚野和子（北檜山）

## ◇感謝します◇

■社協愛情銀行（予託・払い出し）

▽菅井ハマエさん（花石）から十万円を豊寿園へ▽大倉啓太郎さん（昭和町）から宏の里学園、小百合保育園へ各三千円▽横原宏さん（八束）からグリーンアスパラ二十一箱を豊寿園へ▽中塚美津枝さん（八束）から二万円を豊寿園へ▽今金町議会総務常任委員会（代表狭間勝昭さん）から缶ジュース六十本を豊寿園へ▽立正校正会檜山支部青年部栗山幸雄さん他七名が町内交通安全標識を修理奉仕

◆町職員の人事◆

異動（六月一日付）

▽商工観光課商工観光係（税務課第二係）沢谷芳博▽町民課交通安全係（建設課維持係）原田与一

新採用

▽福祉課保健婦係長　藤田喜枝子
▽税務課第二係　藤田民男

■種川の小学生が豊寿園を慰問

「おじいちゃん、おばあちゃん いつまでも元気でね。」と五月二十九日、種川小学校（奥崎敏雄校長）一・二年生三十六名が似顔絵を描きに豊寿園を訪れました。

かわいい孫達がきたとお年よりたちは大歓迎、ホールまで足を運んだり、ベッドに起き上がってポーズをとったりしていました。

子どもたちは、「おばあちゃんいつ生れたのですか。」などと話しかけながらクレパスを休みなく動かし、二時間後にはおばあちゃんたちの名前を書きこんで仕上げました。かわいいお客さんの訪問で豊寿園は大にぎわいでした。

■老人クラブが花壇整備

環境週間のはじまった六月十日役場町民課で花の苗四千二百本を各地域の施設、団体に配付したが、今金老人クラブは早速自転車公園の花壇に植え込み、雑草取りに心よい汗を流し、初夏の華やかさをつくり出していた。

# ＝広報＝ トピックス

■今金町へ防犯灯プレゼント

六月二日から北電の「こんにちは旬間」が始まりました。北電北檜山営業所では配電設備の総点検、一日営業所長の委嘱などを行いましたが、六月五日野呂北檜山営業所長が役場を訪れ、町に防犯街路灯（八〇W水銀灯）六基を寄贈しました。

この善意あるプレゼントは昭和五十一年に次ぎ二度目。目録を手渡された町長は、「おかげで、夜の暗い道が年々改善されてきました」と感謝していました。

■小学三年生が〝町内めぐり〟

よく晴れた五月二十九日町内の小学校三年生がバス三台に分乗し、町内の各施設等を巡り社会科の勉強をしました。

この行事は毎年行われているもので、まず田代の苗畑事業所を訪れ今金営林署の係官から木の成長過程の説明を聞き熱心にメモをとり、「何年たったら大木になるの」など質問していました。

## 住民の動態

| | | |
|---|---|---|
| 人口 | 9,198 人 | （－2） |
| 男 | 4,484 人 | （＋2） |
| 女 | 4,714 人 | （－4） |
| 世帯 | 2,654世帯 | （＋5） |

（5月31日現在 住民基本台帳人口）

◇おたんじょうおめでとう

又村　智5/1誠　長男）栄　町
清水　俊光5/6寛　二男）日の出町
長崎　美香5/7正則　長女）下種川
渡部　敏徳5/10重利　二男）日の出町
山崎　周一5/13嗣夫　長男）大和町
佐久間さとみ5/17政敏　長女）緑　町
中居　文彦5/22利勝　二男）商工団地
陰山　尚子5/23政春　二女）高美町
鷲野久美子5/27竹春　二女）昭和町

◇いつまでもしあわせに

宮　覚＝柿木　育子　緑　町
山形　孝一＝吉田喜美子　末広町
面谷　勝志＝佐藤　止　高美町

◆おくやみもうしあげます

菅井　なを5/6　九十　歳　種川富南
大谷　みゑ5/24　八十二歳　神丘高台
東篠はるの5/27　八十二歳　花　石
苅屋　留吉5/27　六十　歳　南豊愛